

日本共産党八王子市議団ニュース 19期-No.45



松本よし子の議会報告

〒193-0835 千人町1-9-17 Tel 661-6626 Fax 662-0418
 メール y44koo@nifty.com
 ホームページ http://www.cpi-media.jp/hachioji/

少人数学級は不可欠です。いじめ問題でも「少人数学級なら先生の目も行き届き、クラスも落ち着く」という保護者の声にこたえ、引き続き拡充を求めています。

小学1・2年生で実施されていた35人学級の拡大は、安倍政権が見送ってしまいました。東京都独自の取り組みで中学校1年生に実施されます。しかし、小学校3年生から6年生は40人学級になってしまい、八王子でも数校で影響を受けます。



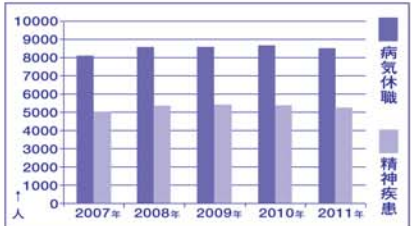
小学校1・2年生で実施されていた35人学級の拡大は、安倍政権が見送ってしまいました。

新学期 子どもたちが明るく元気いっぱい

子どもたちが明るく元気いっぱい

先生が教育活動に専念できる環境を

実に8割の先生が「仕事が多すぎる」と勤務実態調査で答えています。一昨年度、心の病で休職した教員は5274人。5年連続して5000人を超えている事態は異常です。「学校教育の場で、労働安全衛生の必要性について指導徹底を図る」ことは法律に明記されていますが、八王子の教員には実施されていませんでした。私はこの問題を繰り返し取り上げ、



学校図書館サポーター8人配置

学校図書館で働く司書が新年度2人増え、8人体制になります。中学校に派遣され、近隣小学校にも出向きます。昨年9月から配置された学校ではどこでも評価が高く、増員が望まれていました。

高齢者の社会参加をもっと広げよう 市長「福祉のまちづくりが全体に広がるよう努める」

「聞こえ」の支援を求めて

70歳を超えると会話の20%くらい聞きにくくなります。すると人との会話や、会うことがおっくうになり、引きこもりがちに。ところが難聴者への支援は、きわめて遅れています。私は3月議会で「聞こえのバリアフリー」を取り上げ、聞こえに関する市の支援を求めました。

その第一は、補聴器の購入助成です。価格は10万円から50万円もするので大きな負担です。新宿区など購入費助成を行っており、本市での実施を求めました。

第二には、いちようホール、オリンパスホール、東浅川健康福祉センター等、市の施設に設置してある磁気ループ(*)の存在を知らせて活用し、さらに拡大を求めました。台東区は区役所高齢福祉課の窓口、山口県萩市ではコミュニティバスの車内に設置してあります。

補聴器は早めに使うのが効果的

補聴器相談医にご相談ください。八王子にも7人ほどお医者さんがいます。認定補聴器技術者の資格を持つ八王子に2店舗です。



*磁気誘導ループとは左のように聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備のこと。磁界を発生させるワイヤーを輪のように這わせることから、通称「磁気ループ」と呼ばれる。国際的には「ヒヤリングループ」という名称になっている。

労働相談情報センター、労政会館の存続求める

東京都は明神町にある労働相談情報センターと併設する労政会館について「老朽化」や「キャパシティが小さい」ことなどを挙げ、廃止して立川に移転するとしています。雇用状況は極めて深刻であること、相談件数も年間4,000件を

超え、労政会館の利用者も24万人にも上ることなどから、存続を求める質問を行いました。センターが小さく、老朽化というなら豊かな都の財政で建替えてはどうか、と提案も行いました。市長は検討するとの答弁にとどまりました。

特養ホーム建設をめぐる重大疑惑！

1ベット300万円 総額4億6200万円を市が助成

2月28日から3月28日までの会期で市議会第一回定例会が開かれました。審議の中で石森市政の新年度予算の最大の目玉政策として新聞報道された、

公正、公平な行政を求める立場から事業の中止を

“本人が言っているの。”

“一五四床やると言っているの。”

補助制度の内容は、医療対応や看取り介護が可能な特別養護老人ホームを建設する事業者に一床当たり三百万円、応募床数一五四床、総額四億六千二百万円を補助しようとするもの。三月一日からすでに募集を開始し、四月に応募を締め、五～六月で審査を行い、七月に事業者を決定するスケジュール。

予算審査特別委員会の冒頭、この問題を取り上げた自民党新政会のF議員は「これが特養の応募要領なんですか。まるで病院を建設する応募要領です」とし、「応募要領の要件と特養の要件が一致している。本人がもう言っているの。一五四床をやると言っている」とすでに具体的な事業者が決定している旨の発言があり「決めうち、狙いうちだ」と指摘されました。そして「接触した議員がいるでしょう。誰と接触したんだ」との問いに、担当課長は「今年度、四月にF議員からご

特別養護老人ホーム整備費補助に重大な疑惑が生まれました。日本共産党市議団は今予算案の最大の問題点として追及しました。

提案をいただいております」と答弁。

特養ホームへの今回の助成制度は、自民党新政会のF議員の提案であることが明らかになりました。そして、「この施設といつから議論を始めたの」との問いに担当課長から「四月にF議員から提案をいただいた後、八王子市内で唯一10項目をしている施設に対して現場視察を実施させていただいた。五月ぐらいと記憶している」と答弁がされました。



自民党F議員と“本人”の関係もホームページで明白

「本人」のホームページから

- 八王子市議会議員のF氏の新春を祝う会に参加させていただいた。
- 12月土曜日F議員総決起大会での挨拶。
- F市議会議員のパーティーが開催され市長はじめ皆さん参加されていました。
- 子安町で委託を受けた地域包括支援センターの内装工事が終了しました。F工務店さんに工事を依頼し〜。

今後、指摘のあった事業者が応募し、最終的に選定されるかどうか、それとも58万市民への信頼を優先させ、賢明な判断を石森市政が下すのか、注目されます。

今後のスケジュール

H.25年 3月	特別養護老人ホーム整備運営候補事業者募集開始
4月	応募締切
5~6月	審査
7月	整備運営候補事業者決定
9月	都補助金協議
H.26年 6月	都補助金内示
10月	施設建設工事開始
H.27年 12月	竣工
H.28年 2月	施設開所

若者サポートステーションいよいよ設置

若者を取り巻く雇用情勢は極めて深刻です。党市議団は働くことに様々な悩みを抱えるニート（※）などの若者の職業的自立を支援する「地域若者サポートステーション」（愛称「サポステ」）の設置を繰り返し求めてきました。このほどその要望が実り、八王子に設置されることが明らかになりました。近々、市内横山町のビルに開設の予定です。

※ニートとは、15～34歳の若者で、仕事に就かず、家事も通学もしていない人をいいます。2012年で63万人と高水準にあり、就労や復学など、こうした人への進路決定に向けた支援がますます重要となっています。

